

## プログラム

12月1日(木)	
10:00-10:10	家富洋(新潟大・理学部) 開会挨拶
10:10-10:40	相馬亘(ATR・ネットワーク情報学研究所) 企業間のネットワーク構造と相関関係
10:40-11:10	石川温(金沢学院大・経営情報学部) 静力学的に導かれた高・中額領域の分布関数
11:10-11:40	末松千尋*(京大・大学院経済学研究科) トランザクション・インターフェースに着目した市場・組織の汎用的モデリング
11:40-12:20	吉川洋(東大・大学院経済学研究科) [招待講演] 経済物理学とマクロ経済学
12:20-13:30	昼食
13:30-14:10	引馬滋(CRD協会) [招待講演] 「効率」かつ「安全」な経済実現に向けての経済物理学への期待
14:10-15:10	Poster講演(一人3分)
	一宮尚志(北大・電子科学研究所) ギャンブル市場のメカニズム
	山田健太(東工大・総合理工学研究科) 閾値型ディーラーモデルによる為替市場のシミュレーション
	渡辺広太(東工大・総合理工学研究科) 指数発散を伴う変動に対する非定常成分の分離
	佐藤彰洋, 小崎元也(京大・大学院情報学研究科) 並列二閾値素子系による市場のモデル化とそのベキ則性
	吉野隆(東洋大・工学部) 囚人のジレンマゲームにおける人口比のネットワーク構造依存性
	佐々木弾*(東大・社会科学研究所) Newtonian Auctioneering

	田浦紀子, 生天目章 (防衛大) 優れたメタ戦略の伝播と共有化に及ぼすネットワーク構造の影響
	谷本智史 (横浜市立大・総合理学研究科) 乗法的相互作用する多自由度確率過程における Pareto-Zipf 則
	飯塚剛 (愛媛大・理学部) ジレンマゲームにおけるダイナミクス
	鈴木忠雄 (福島学院大) 個人所得分布におけるワイブルスケールと経済指標
	藤原義久 (ATR・ネットワーク情報学研究所) 企業の成長と取引ネットワーク
	家富洋 (新潟大・理学部) エージェントモデルを用いた企業活動の統計的性質の研究
	池田裕一 (日立総合計画研究所) 財務諸表解析により推定したパラメータを用いた定量的な 企業エージェントモデル
	島崎秀昭 (京大・理学研究科) 乗法的競争モデルに見られる相転移
	上田昌史* (関西大学経済・政治研究所 RCSS) インタフェース経済・経営学のモデル
	田中美栄子 (鳥取大・工学部) 少数派ゲームと人工市場
15:10-15:30	Coffee Break / Poster Session
15:30-16:00	佐藤彰洋 (京大・大学院情報学研究科) 外国為替市場の高頻度時系列分析とエージェントモデル
16:00-16:30	藤原明広 (横浜市立大・総合理学研究科) 重み付き乗法的相互作用をする多自由度確率過程における 確率分布関数
16:30-17:00	増川純一 (福山平成大・経営学部) 市場インパクトの実証研究と確率モデル
17:00-17:30	山崎和子 (東京情報大) 投機市場におけるスケール普遍性と価格変動リスク

12月2日(金)	
9:00-9:40	生天目章* (防衛大) エージェントベースモデルの妥当性評価について
9:40-11:00	Poster Session (発表タイトルは1日目に提示)
11:00-11:30	石井晃 (鳥取大・工学部) ヒット現象の数理モデル
11:30-12:00	佐塚直也 (Sony) 金融市場の価格変動と注文の待ち時間に関するワイブル分布性
12:00-12:30	齊藤有希子 (富士通総研) 企業成長の履歴効果
12:30-14:00	昼食
14:00-14:40	高安秀樹* (Sony・コンピューターサイエンス研究所) [招待講演] 高頻度経済データに対する移動平均の意義
14:40-15:10	高安美佐子* (東工大・総合理工学研究科) 為替市場価格の高頻度データにみられる中心力ポテンシャル
15:10-15:20	Coffee Break
15:20-15:50	水野貴之 (東工大・総合理工学研究科) 市場価格の時間の矢と中心力ポテンシャルの応用
15:50-16:30	青木正直 (UCLA・東大日本経済国際共同研究センター) [招待講演] Cluster size distributions of heterogeneous economic agents: are there nonself averaging phenomena in economics?
16:30-16:40	青山秀明 (京大・大学院理学研究科) Concluding Remarks

\*報告原稿なし.